

## 「いやしの空間プロジェクト」活動の記録

### 【イングリッシュガーデンへの取り組み】

テーマ決定後、デザインの検討を行いました。会員の意見に基づき何枚もデザイン画を描き、平成22年12月まで検討を行いました。

並行して資金集めを行いました。匿名で高額なご寄附をいただいた方もいて寄附の総額は460万円ほどになりました。

任意のボランティア団体であることや費用面の制約もあり、詳細仕様までは設計できないため、業者選定はプロポーザル方式としました。期間の関係から市に登録されたAランクの優良建設業者2社と市外の建設業者1社を指名して、プロポーザルを受けました。プロジェクトの選定委員会で審査した結果、プロジェクトが求めるイングリッシュガーデンの雰囲気が一番近く、しかも費用面で一番安い提案をした中澤技研に工事をやっていただくことになりました。工事費用は425万円です。

工事は2月中旬から4月中旬まで約2ヶ月です。その前後でさまざまなボランティア活動が展開されました。「オープンガーデン富士宮」の方々は各自で苗を育て移植の準備をしていただきました。また、中庭Aに繁茂していた竜のひげを富丘小学校の児童の絵画を取り囲むようにリハビリ庭園に移植しました。また、新しい花壇への土の運び込みや土作り、芝張りは病院内外の多くの人たちの協力がなければできませんでした。そして、最後にはボランティアにより大切に育てられた苗の移植です。土に戻るポットで育てていただいたため、平成23年5～6月にはたくさん花を付けてくれました。このようなボランティア作業を経てようやく開園式を迎えることができました。